

# 栽培実験の例 ～カブ・ミニダイコン～

鹿児島大学 浅野陽樹, 池田舟

## 1. 各作物の栽培概要（鹿児島県での実施例）

### (1) カブ

栽培時期	10月下旬～12月下旬						
栽培方法	袋栽培						
土づくりの効果	生育（葉数），収量（根重）						
栽培暦	10月	11月			12月		
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	-----		-----			-----	
	播種		間引き			収穫	
栽培の注意点	6L容のポリエチレン袋で栽培が可能，播種から栽培を開始できる。土が硬い場合，根の成長が阻害されることがあるため，注意が必要。						

### (2) ミニダイコン（葉根っ子）

栽培時期	10月下旬～1月上旬							
栽培方法	袋栽培							
土づくりの効果	生育（葉長），収量（根重）							
栽培暦	10月	11月			12月			1月
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬
	-----		-----			-----		
	播種		間引き			収穫		
栽培の注意点	12L容のポリエチレン袋で栽培が可能，播種から栽培を開始できる。土が硬い場合，根の成長が阻害されることがあるため，注意が必要。							

## 2. 栽培用培土

両作物ともに次の5種類の培土で比較栽培した。各培土の物理性は表1の通り。

- 黒ボク土単体
- 黒ボク土：パーミキュライト：パーライト混合土（2：1：1）

- 黒ボク土：バーミキュライト：腐葉土混合土（2：1：1）
- 赤玉土（小粒）単体
- 赤玉土：パーライト混合土（1：1）

表 1 供試培土の物理性（公定法）

	保水性	排水性	通気性
	ml/100ml培土	ml/秒	%
黒ボク土	58	0.2	4
黒ボク土+バーミ+パーラ	57	1.8	18
黒ボク土+バーミ+腐葉土	61	1.1	17
赤玉土	54	8.3	15
赤玉土+パーラ	54	10.7	28

### 3. 栽培条件

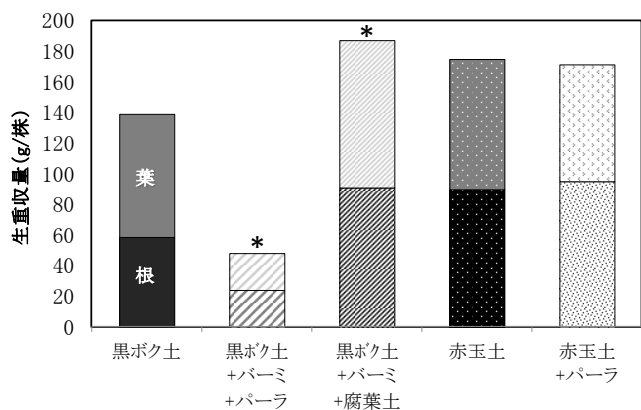
- (1) 播種 : 2017/10/16
- (2) 収量調査：カブは 12/4, ミニダイコンは翌年 1/8
- (3) 栽培密度：1 袋あたり 1 個体（間引き後），
- (4) 栽培容器, 培土量, 施肥条件：表2の通り

表 2 栽培条件

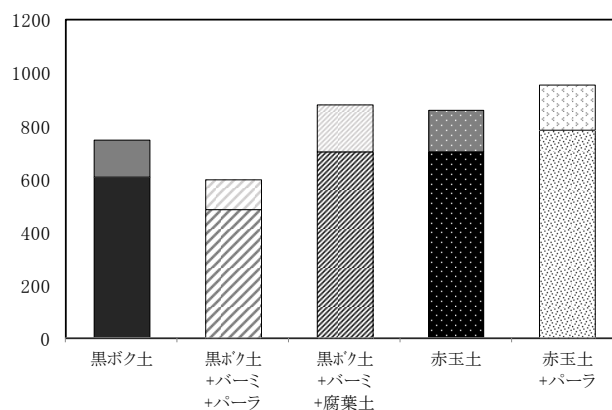
	栽培容器	培土量	化成(8-8-8)	牛糞堆肥	油粕	苦土石灰
カブ	ビニル袋	4L	10g	40g	1g	2g
ミニダイコン	ビニル袋	8L	15g	70g	2	5g

### 4. 収穫量（結果例）

黒ボクにバーミキュライトと腐葉土を混合することで物理性が改善され、収量もアップしました。しかし、パーライトのように作物と相性の悪い培土があることもわかりました。赤玉土に関しては、基本用土自体の保水・排水性が高かったため、改善効果が現れなかったものと考えられます。



☒ カブの収穫量



☒ ミニダイコンの収穫量